



<定点把握感染症>

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県) 第1~39週
	第38週	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(43)			(9)			(10)			(4)			(8)			(12)			
インフルエンザ	78 0.02																			5
小児科定点 (定点医療機関数)		(28)			(6)			(7)			(3)			(5)			(7)			
RSウイルス感染症	3891 1.24	58 2.00	120 4.29	▲	3 0.50	7 1.17	△	9 1.29	14 2.00	▲	5 1.67	20 6.67	△	32 5.33	58 11.60	▲	9 1.29	21 3.00	▲	433
咽頭結膜熱	137 0.04		1 0.04	△											1 0.20	△				381
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	806 0.26	2 0.07	5 0.18	△				1 0.14	2 0.29	△				1 0.17	3 0.60	△				409
感染性胃腸炎	5156 1.64	25 0.86	27 0.96	△	5 0.83	10 1.67	△	10 1.43	7 1.00	▽				9 1.50	7 1.40	▽	1 0.14	3 0.43	△	5796
水痘	138 0.04	1 0.03	4 0.14	△	1 0.17	2 0.33	△								2 0.40	△				91
手足口病	7102 2.26	189 ◎6.52	106 ◎3.79	▼	44 ◎7.33	22 ◎3.67	▼	53 ◎7.57	23 ◎3.29	▼	6 ◎2.00	9 ◎3.00	△	74 ◎12.33	42 ◎8.40	▼	12 1.71	10 1.43	▼	2478
伝染性紅斑	34 0.01																			7
突発性発しん	700 0.22	10 0.34	7 0.25	▽	1 0.17	1 0.17		2 0.29	2 0.29		1 0.33		▽	4 0.67	2 0.40	▽	2 0.29	2 0.29		435
ヘルパンギーナ	1346 0.43	76 ◎2.62	47 1.68	▼	14 ◎2.33	6 1.00	▼	10 1.43	4 0.57	▼	2 0.67		▼	41 ◎6.83	28 ◎5.60	▼	9 1.29	9 1.29		1238
流行性耳下腺炎	93 0.03																			23
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	4 0.01																			0
流行性角結膜炎	129 0.19	1 0.13		▽										1 1.00		▽				63
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 0.00																			2
クラミジア肺炎	2 0.00																			0
マイコプラズマ肺炎	5 0.01																			2
細菌性髄膜炎	3 0.01	1 0.10		▽													1 0.33		▽	2
無菌性髄膜炎	8 0.02																			0

◎ : 警報レベル ○ : 注意レベル

<全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌 感染症				2	1	型別: O157 VT1VT2(2)、 O26 VT2(1)
アメーバ赤痢					1	
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	1					90日以内の海外渡航歴:無し
結核	1					※第38週追加報告分

<通信欄>

※新型コロナウイルス感染症
陽性者健康フォローアップセンター運用中です。

新型コロナウイルス感染症の発生届の対象外となる方が、安心して自宅療養できるよう、「陽性者健康フォローアップセンター」を設置しています。

陽性登録部門

自己検査等で陽性になった方

登録方法に関するお問い合わせ
☎050-5444-2359
(9:00~17:00)

医療機関で陽性と診断された方

健康相談部門 ※陽性登録をしていない方も相談可能です

☎050-5530-2138(24時間受付)

- ・自宅療養中の体調不安や症状悪化時の相談
- ・自宅療養に関する問い合わせ(療養機関、食料支援、宿泊療養ほか)
- ・医療機関で陽性診断の方(発生届対象外)の登録相談

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	5	20	47	21	17	6	3	1							120
咽頭結膜熱					1										1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1			1	2	1							5
感染性胃腸炎		4	4	1	4	2	1	4		2			5		27
水痘			2						1	1					4
手足口病	1	10	38	25	9	11	2	5	1	1	1	2			106
伝染性紅斑															0
突発性発しん			5	1	1										7
ヘルパンギーナ		3	11	5	13	1	11		1				1	1	47
流行性耳下腺炎															0

< 令和4年8月 月報 >

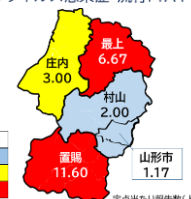
2022年9月28日 発行

疾患名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	18	11	5	3	1	2	3	1	4	1	5	4	112
	定点当り	1.80	1.10	1.67	1.00	1.00	2.00	3.00	1.00	2.00	0.50	1.67	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	9		1			1	4	5	4	1		43
	定点当り	0.70	0.90		0.33			1.00	4.00	2.50	2.00	0.33		
尖圭コンジローマ	報告数		4		1				1		1		1	16
	定点当り		0.40		0.33				1.00		0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数	5	4	1						2	1	2	3	21
	定点当り	0.50	0.40	0.33						1.00	0.50	0.67	1.00	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	3	3					1				2	3	25
	定点当り	0.30	0.30					1.00				0.67	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	7	11		1	1	1	1				6	8	94
	定点当り	0.70	1.10		0.50	0.50	0.50	1.00				2.00	2.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													0
	定点当り													

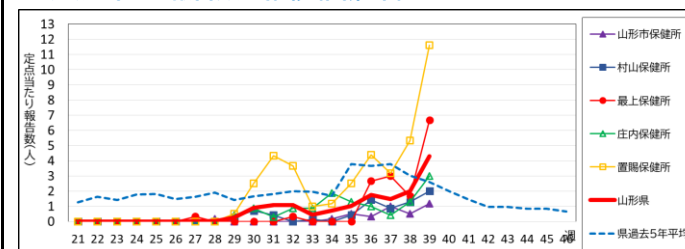
<トピックス>

RSウイルス感染症の報告が増えています

RSウイルス感染症の報告が増加傾向にあり、<RSウイルス感染症 流行MAP>第39週の定点当たり報告数は、全ての保健所で前週より増加しました。
RSウイルス感染症は、初めて感染した時に症状が重くなりやすいので、新生児や乳児の感染に注意が必要です。



< 定点当たり報告数の推移(山形県) >



●RSウイルス感染症ってどんな病気？

RSウイルス感染症は、RSウイルスに感染することによって起こる呼吸器感染症です。2歳までにほぼ全ての人が感染し、生涯で何度も感染を繰り返すと言われています。
RSウイルスに感染すると、咳や発熱、鼻水などの風邪のような症状が数日続きます。潜伏期間は、約4～6日です。
多くの場合軽い症状で済みますが、まれに細気管支炎や肺炎を併発して、症状が重くなる場合もあります。特に初めて感染した場合は症状が重くなりやすく、新生児や生後数ヶ月以内の乳児は注意が必要です。



●予防するにはどうすればいい？

感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染、ウイルスがついている物を介しての接触感染があります。予防法としては、手洗いの励行、物を介しての接触感染があります。予防法としては、手洗いの励行、マスクの着用、ウイルスの付いている物の消毒が有効です。



※RSウイルス感染症に関する情報は、下記のアドレスから参照できます。

©RSウイルス感染症に関するQ&A(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.htm